

『第57回 日本作業療法学会 in 沖縄』にて発表を行いました！



令和5年11月10日～12日の3日間。
一般社団法人日本作業療法士協会主催「第57回 日本作業療法学会」
が、沖縄コンベンションセンターにて開催されました。

当院の作業療法士2名が発表を行いました。



ポスター発表

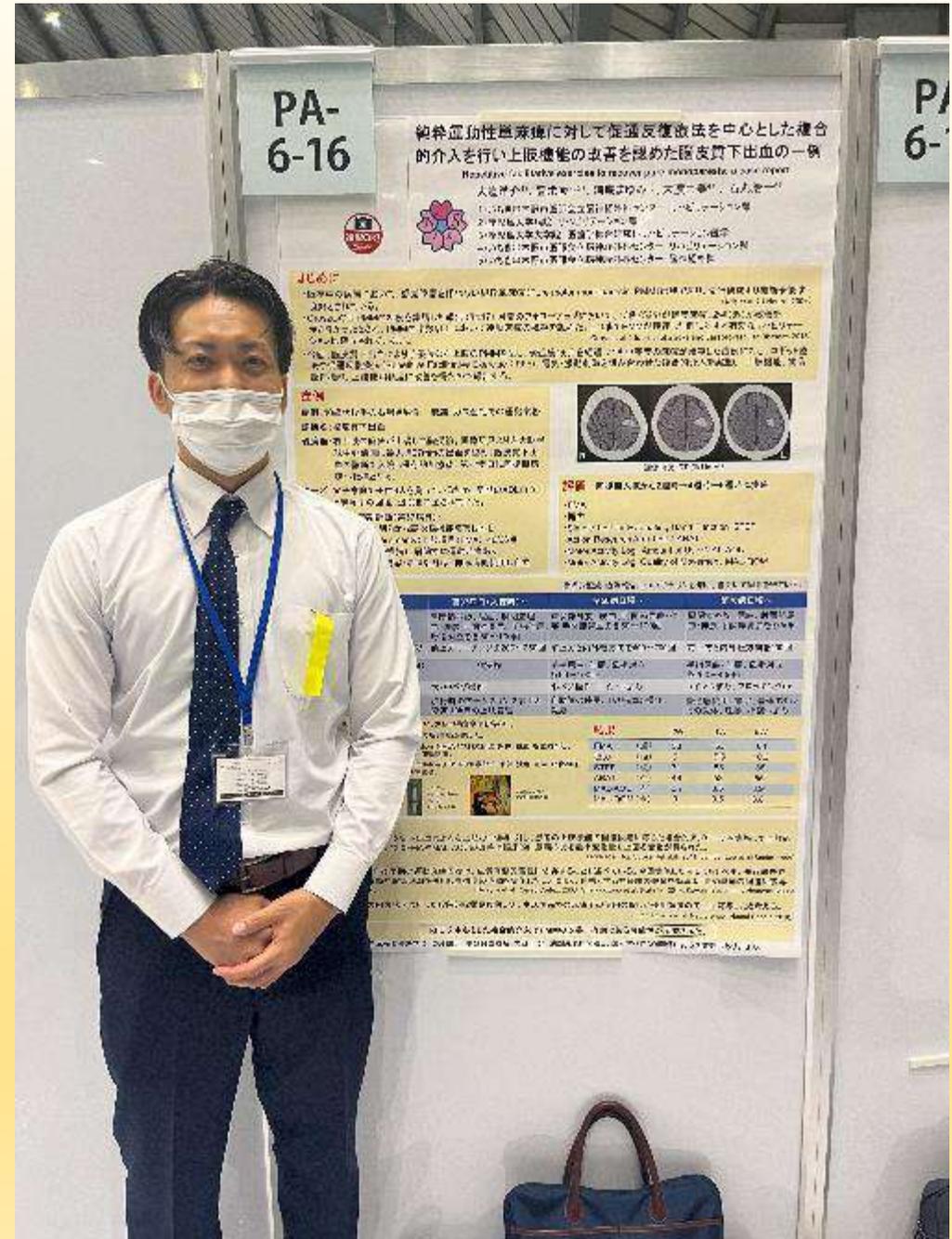
「純粋運動性単麻痺に対して促通反復療法を中心とした複合的な介入を行い上肢機能の改善を認めた脳皮質下出血の一例」

純粋運動性単麻痺に対して、促通反復療法、電気刺激療法、ロボット療法、ADL訓練を回復段階に応じて難易度設定を行い、また生活場面での麻痺手の使用の促しにて、一定の改善が得られた。

感想

抄録やポスター作成を行うことで、先行研究との比較や自分自身が行った介入の妥当性や新規性などを振り返ることができ、良い機会となりました。担当させて頂いた症例様、作成にご協力頂きました院内外の療法士、リハビリテーション医の先生に感謝申し上げます。

また、学会での発表を行うことで多施設の先生方とも意見交換が行えたことや、発表を拝聴することで今後の臨床をより発展させていけるイメージを持つことができました。患者様の目標が達成できるように研鑽を続けていきたいと思っております。



口述発表

「失語症を伴う重度片麻痺に対し、 促通反復療法とTransfer Packageを 用いた介入により麻痺手使用の改 善を得た一例」

失語症を伴う重度片麻痺患者に対して、
促通反復療法などの複合的な介入、失語症
の程度に合わせたセルフモニタリングにより、
麻痺手の生活場面での使用頻度・質の改善
が得られた。



感想

今回、OTとなり初めて学会発表をさせて頂きました。今後の課題も見えて貴重な経験となりました。

今回の発表に至るまでの過程では、定期的な研修会で報告の機会もあり、都度ブラッシュアップが行えました。また、抄録や発表スライド作りでは、リハビリテーション医の先生をはじめ、同僚・先輩方々からアドバイスを多く頂け、不安もありましたが力強いバックアップに励まされました。今後とも、患者様のためにより良いリハビリが提供できるよう努力していきたいと思えます。